

各 位

会社名 株式会社 医学生物学研究所
代表者名 代表取締役社長 山田 公政
(JASDAQ・コード4557)
問合せ先 取締役 中井 邦彦
電話番号 052-238-1901

当社の親会社 JSR株式会社
代表者名 代表取締役 CEO エリック ジョンソン
(東証一部・コード4185)

特別損失の計上及び繰延税金資産の計上、並びに業績予想の修正に関するお知らせ

1. 特別損失の計上

本日の当社の取締役会において、当社とのシナジーや資本効率の観点から、当社100%子会社の株式会社 新組織科学研究所の事業活動を本年6月末に停止し、解散に向けて進めることにつき決議しました。

当該決議に伴い、下記のとおり特別損失を計上する見込みです。

1) 特別損失：約1億50百万円(見込み)

2) 特別損失計上の理由

株式会社 新組織科学研究所は2013年7月に、民事再生法を申請していた組織科学研究所から病理組織学検査事業を譲受する形で事業を開始しました。その後、当社は2016年度より事業の選択と集中を進め病理事業を縮小する中で、新組織科学研究所と当社の事業シナジーを見出すことができなくなったこと、他社との提携を模索するも不調に終わったこと、新組織科学研究所の業績が2019年後半以降悪化、将来に渡り好転する見込みがないこと等を理由として、今回の判断に至りました。事業活動の停止の決断に伴い、今期中に適切な引き当てを行うため、上記特別損失を計上するものであります。

2. 繰延税金資産の計上

本日の当社の取締役会において、当社は2020年3月期決算において、下記のとおり繰延税金資産を計上することにつき決議いたしました。

1) 繰延税金資産の計上額：約2億50百万円(見込み)

2) 繰延税金資産の計上の理由

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、現時点での将来の課税所得を保守的に見積もり、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2020年3月期決算において繰延税金資産を計上し、これに伴い、個別決算、連結決算で法人税等調整額(△は利益)として△2億50百万円程度を計上する見込みです。

3. 業績予想の修正

前出の特別損失の計上及び繰延税金資産の計上に伴い、2019年10月29日に公表した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、「個別業績予想に関して」に記載の理由から、個別業績予想の変更はいたしません。

2020年3月期通期業績予想の修正について

(1) 2020年3月期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,300	百万円 1,400	百万円 1,300	百万円 1,100	円 銭 212.73
今回修正予想（B）	9,300	1,400	1,300	1,200	232.07
増減額（B－A）	0	0	0	100	
増減率（％）	0	0	0	9.1	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	8,182	488	552	316	61.28

(2) 連結業績予想修正の理由

前出の特別損失の計上、及び繰延税金資産の計上に伴い、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想より1億円増加の12億円となる見込みです。

※ 個別業績予想に関して

特別損失の計上に伴い、当社が保有する株式会社 新組織科学研究所の株式評価損（1億4百万円）、及び同社支援に対する損失引当金（約1億33百万円）により、約2億37百万円の特別損失を計上する見込みである一方で、繰延税金資産の計上に伴い△2億50百万円程度の法人税等調整額（△は利益）を計上する見込みであることから、個別業績予想については、前回発表予想から変更はいたしません。

※本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上